

小学校4年～6年（選択）　自己理解・他者理解

自分も相手も大切に「自分の気持ち・相手の気持ち」

1 ねらい

気持ちちはさまざまであり、感じ方は人それぞれであることを理解する。

2 本時で目指す児童の姿

- (1) いろいろな気持ちがあることに気付いている。
- (2) 気持ちは人それぞれ違うことを理解している。

3 準備

- (1) 教師の準備物
どんな気持ちカード
- (2) 使用するシート
ア どんな気持ちカード【p. 195】
イ 振り返りシート【p. 230】

4 展開

学習活動	留意点
1 「自己理解・他者理解」について確認する。 【2分間】	○2年生第2回「いろいろな気持ち」の授業を想起させる。 ○気持ちちはさまざまであり、感じ方は人それぞれがあることを理解することをねらいとして伝える。
2 本時のねらいを理解する。【5分間】 ○気持ちについて、今まで感じたことのある気持ちを出し合う。 ・うれしい、楽しい。 ・悲しい、さみしい。 ・イライラする、怒る。 ・不安や恐れ。 【箱】 どんな気持ちがあるのだろう。	
3 教師の表情を見てどんな気持ちか考える。 【10分間】 ○想像した気持ちについて発表する。 ・その顔は怒っていると思う。 ・その顔は、悲しいのかな。うれしいのかな。	○教師の表情から感情を当てクイズ等をして、児童が気持ちをイメージしやすいようにする。 ○分かりにくい気持ちにつ

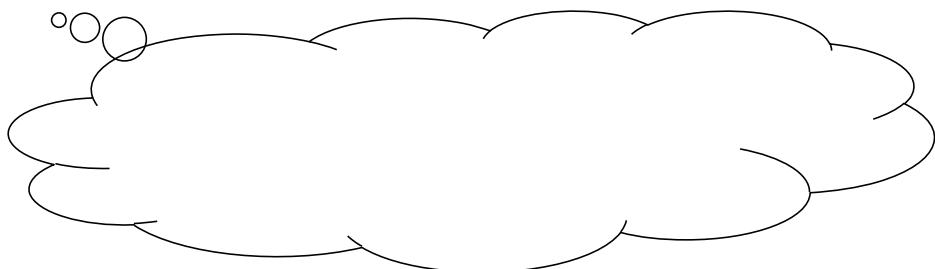
<p>4 感じたことを発表する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・顔をしっかりと見れば、その人の気持ちが分かるかもしれない。 ・先生の顔だけでは、分かりにくい気持ちもあった。 ・同じ表情でも感じ方に違いがあるね。 	<p>いて、児童の意見を拾いながら考えを共有する。</p> <p>◇気持ちちはさまざまであることを理解している。</p>
<p>こんな時みんなは、どんな気持ちになっているだろう。</p>	
<p>5 いろいろな場面での、自分の気持ちを想像する。【23分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どんな気持ちカードを配布する。 ○自分で考えて気持ちを書く。 ○書き終わったら、隣や近くの席の人と見せ合う。 ・同じことでも感じる気持ちは違うんだね。 	<ul style="list-style-type: none"> ○どんな気持ちカードの記入の見本をプリントに拡大したり、板書したりするなどして示す。 ○ワークシートを参考にしてクラスの実態にあった場面を用意しても良い。
<p>6 振り返りをする。【5分間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・嫌な気持ちになったり、気にしなかったりなど気持ちは人によって違う。 ・同じ出来事でも人によって、良い気持ちになったり、恥ずかしい等の気持ちになったりすることがある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○代表児童のカードを掲示して全体で意見を出し合うのも良い。 ○友達との考え方の違いに焦点を当てる。 <p>◇ (ねらいにせまったく姿) 気持ちは人それぞれ違うことを理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○活動中の様子から、今後個別に支援する必要がある児童について把握する。

こんなとき、どんな気持ち？

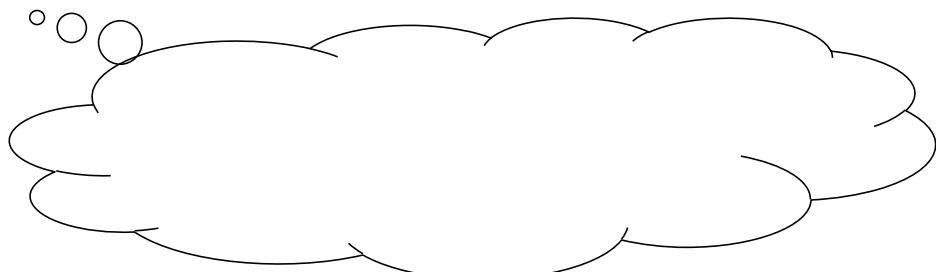
■つぎのようなとき、どんな気持ちになるでしょうか？

に気持ちの言葉を書きましょう。

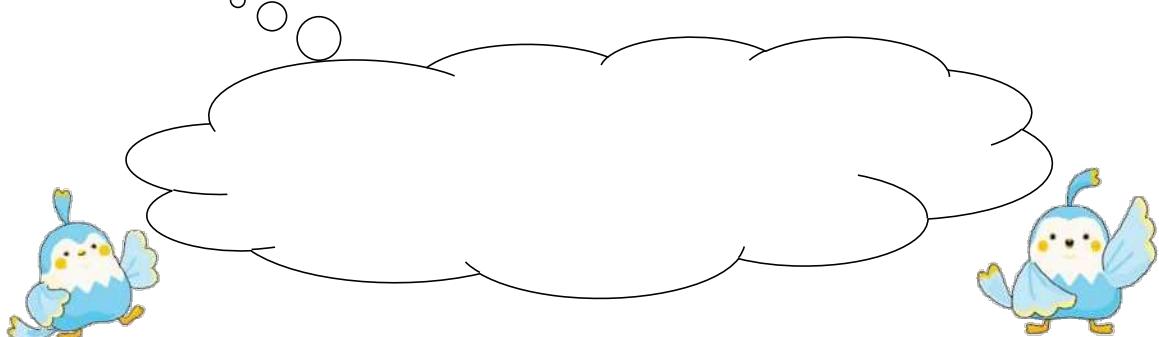
1. ならんでいたら、^{よこはい}横入りされた。



2. みんなの前で発表をした。^{はっぴょう}



3. むずかしい問題がとけた。^{もんだい}



振り返りシート 【プログラム：】

年 組 番 名前 _____

1 自分のこととして取り組みましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

2 自分や友達の考えを大切にしましたか。

1	2	3	4
まったくあてはまらない	あまりあてはまらない	すこしあてはまる	とてもあてはまる

3 この授業で大切にしたいことやこれからの生活に役立てたいことなど

を書いてください。